



令和6年度4月開講

# 琉球大学病院 看護師特定行為研修



琉球大学病院で  
日本の未来の医療を  
支える特定行為を  
学んでみませんか？



琉球大学病院は、令和7年1月に新病院  
(普天間キャンパス)へ移転します。  
そのため令和6年度は、研修期間および  
修了時期が変更になる場合があります。

出願期間

令和5年12月1日(金)～12月26日(火)

当日必着

募集定員

裏面参照

選考方法

書類・面接による選考

(書類は、下記URLまたはQRコードよりダウンロードください)

URL: <https://senmon.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

受講資格

通算5年以上の臨床実務経験を有する看護師 他、裏面参照

お問い合わせ

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地  
琉球大学病院 キャリア形成支援センター(看護師特定行為研修担当)  
TEL:098-895-1521 FAX:098-895-1099  
Email: [kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp)



令和6年度4月開講

# 琉球大学病院看護師特定行為研修

特徴

- ・教育経験豊富な研修指導者や教育者による充実した研修指導体制
- ・おきなわクリニカルシミュレーションセンターを利用し、公平かつ一貫した高度な研修に対応が可能
- ・離島、へき地、小規模施設の看護職が受講しやすいような学習環境の支援
- ・臨床経験豊富な医師及び歯科医師によって作成された手順書に基づいた指導
- ・キャリア形成支援センターによるサポート体制

受講者の条件

- ①日本国の看護師免許取得者であること。
- ②原則として、通算5年以上の臨床実務経験を有する看護師（ただし、准看護師としての経験は除く）。
- ③本研修で開講される講義、演習、実習を本院で受講可能な者。  
(ただし、現在の勤務を継続しながら受講することも可能な範囲で考慮する。)
- ④看護職賠償責任保険に加入していること。

受講審査料

10,000円

		科目名	受講料	定員数	時間数	臨床実習	研修時間			
研修内容・受講料	共通科目	必修	共通科目(全6科目)	448,150円	最大16名	252時間	—	約5か月		
		必修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	39,720円	最大16名	20時間	10症例	約1~7か月 *区分別科目ごとに、講義・演習・実習・評価の期間が異なります。 *令和6年度の研修は、令和7年1月に新病院への移転があるため、研修時期・修了時期が変更になる場合があります。		
	#2 区分別科目	選択	動脈血液ガス分析関連	48,890円	最大3名	13時間	10症例			
			呼吸器(気道確保に係るもの)関連	45,000円	最大3名	9時間	5症例			
			血糖コントロールに係る薬剤投与関連	48,000円	最大16名	16時間	5症例			
			呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	151,000円	最大3名	29時間	20症例			
			精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	123,000円	最大3名	26時間	15症例			
			呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	45,000円	最大3名	8時間	5症例			
			胸腔ドレーン管理関連	122,000円	最大2名	13時間	10症例			
			腹腔ドレーン管理関連	51,000円	最大3名	8時間	5症例			
			栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	97,000円	最大3名	7時間	5症例			
			栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	75,000円	最大3名	9時間	5症例			
			心嚢ドレーン管理関連 ※6	※6 (申請中) 令和6年4月開講予定 令和6年2月に厚生労働省の承認後に料金を決定します。	最大3名	8時間	5症例			
			創傷管理関連 ※6		最大3名	34時間	10症例			
			透析管理関連 ※6		最大3名	11時間	5症例			
			循環動態に係る薬剤投与関連 ※6		最大3名	28時間	25症例			
			#3 領域別パッケージ研修		救急領域 ※4	375,610円	最大3名		85時間	50症例
					外科系基本領域 ※4	462,150円	最大3名		105時間	40症例
在宅・慢性期領域 ※4	286,720円	最大3名			70時間	25症例				
術中麻酔管理領域 ※4	378,610円	最大3名			79時間	45症例				
集中治療領域 ※5	496,000円	最大2名			76時間	50症例				

- ※1 応募状況によっては開講されない区分別科目・領域別パッケージ研修が発生する可能性があります。
- ※2 一度に選択できる区分別科目は必修科目を含め3区分までとします。「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、必ず履修する必要があります。
- ※3 領域別パッケージ研修を選択する場合、必修科目の他、選択科目から「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能です。
- ※4 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、領域別パッケージ研修における一部免除の対象ではありません。
- ※5 必修科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を併せて受講する必要があります。
- ※6 申請中の区分別科目の料金は、令和6年2月厚生労働省の承認後に決定します。詳細はお問合せ下さい。

スケジュール案	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
共通科目(全6科目)	講義(e-ラーニング)(毎週10~15時間程度) 演習・実習・評価(毎月1~10日程度)												
区分別科目							1~3区分を選択 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修です。						
領域別パッケージ研修							1領域を選択 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修です。						

- \* 区分別科目ごとに、講義・演習・実習・評価の期間が異なります。
- \* 区分別科目・領域別パッケージ研修の実習は、所定の症例数に満たない場合は、実習を追加します。
- \* 令和6年度：入講式4月、共通科目日否判定9月、区分別科目日否判定令和6年2-3月、研修修了判定3月、修了式3月
- \* 令和6年度の研修は、令和7年1月に新病院への移転があるため、研修時期・修了時期が変更になる場合があります。